

あこがれの 仕事と どうぐ

きみのやりたい「仕事」は何？
いろいろな仕事で、どんなアルミニウムの「どうぐ」が使われているのか見つけてみましょう。

宇宙飛行士

どんな仕事？

地球から離れて、広い宇宙でいろいろな仕事をするのが宇宙飛行士です。国際宇宙ステーションでは、各国の宇宙飛行士が協力して、宇宙でしかできない実験や研究を行います。宇宙空間に出て、ロボットアームなどを操作するのも大切な仕事です。



空気がない宇宙空間では、宇宙服は必須アイテム！

どうやったらなれるの？

第一に、理科系の勉強をしっかりとっておくこと。外国の宇宙飛行士と仲良く仕事ができたり、外国語が話せると役に立つ。それと、体が丈夫なこと。厳しい試験に合格したら、あこがれの宇宙飛行士だ！

宇宙飛行士の

どうぐ

宇宙空間は1日の温度差が100度以上。宇宙服には表面にアルミ層のあるフィルムなどが何層にも重ねられている。

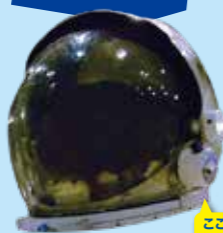
宇宙服



宇宙食

もともと宇宙食から生まれたレトルトパック。無重力でも食べ物を保存できる。

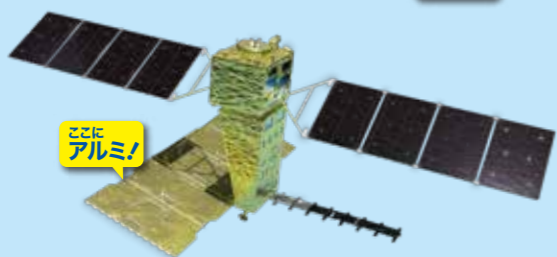
ヘルメット



強烈な宇宙線と真空環境から顔を守る。もちろんフルフェイス。

人工衛星

衛星本体のほか、アンテナやソーラーパネルのフレームに軽くて丈夫なアルミニウムが使われる。



作業用アーム

宇宙船の船外活動では、アルミ製のアームを使って作業、ときには人工衛星をキャッチすることも。



宇宙ステーションの室内は壁も天井もすべてアルミ製！

宇宙ステーション

資料提供：JAXA



カチカチに凍るアルミ製氷皿

冷蔵庫の製氷皿は、昭和の時代にはアルミ製が活躍。レバーを引くと間仕切りが動いて、カチカチの氷が簡単に取れる仕組みです。



みんな大好き!ポテトチップス

袋の内側は、なんとアルミ色。これはプラスチックのフィルムの内側に付けたアルミ膜の色です。光や湿気を防ぐので、いつでもパリパリ!



懐かしいキャラのヨーグルト

昔は紙製のフタだったヨーグルトも、今はアルミ製のフタに。長年愛されてきたキャラも健在で、今も変わらないオイシサ!

はじめてのアルミ! なつかしのアルミ!

知っていますか?

FOODS
食べもの編

alumi_age

FOLLOW



新しくなったコンビーフ

これまでは巻き取り鍵でクルクルと開けていたアレ(台形なので「枕缶」と呼ばれます)が、70年ぶりに生まれ変わりました。新しい容器は、アルミ箔と樹脂フィルムを貼り合わせた「アルミック缶®」*と呼ばれるもの。軽くて、開け方もシールフタをめくるだけで簡単に。密閉性も向上し、保存期間が6か月伸びました。

BEFORE



*「アルミック缶®」は昭和電工パッケージング(株)の登録商標です。